



ブラザー 電子コンパル

エース
デラックス

取扱説明書

ZZ3-B765型・ZZ3-B755型



●ごあいさつ

お買い上げまことにありがとうございます。ブラザー電子ミシン《コンパル》のすばらしい性能と、その正しい使いかたをご理解いただくために、まずこの「取扱説明書」を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに、必ず保存してください。

写真はZZ3-B765仕様です。

運転の手順

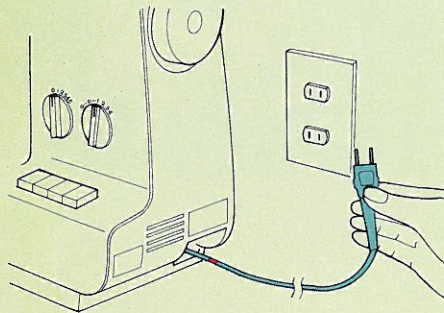
さあ、
始めましょう。



このミシンは、60Hz用になっています。50Hz地域は切り換えてご使用ください。(14ページ参照)

1 電源コード

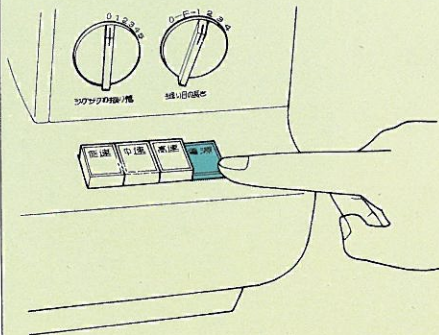
電源コードを引き出し、コンセントに差し込みます。



※赤印以上は引き出さないでください。
※電源コードをしまうときは、少し引つ張ってから離してください。

2 電源スイッチ

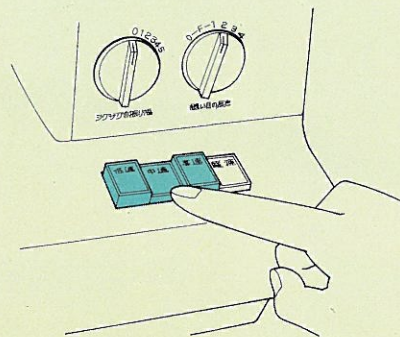
スイッチを押すと電源が入ります。もう一度押すと切れます。



※ミシンを使用しないときは、必ず電源を切っておいてください。

3 スピードコントロールスイッチ

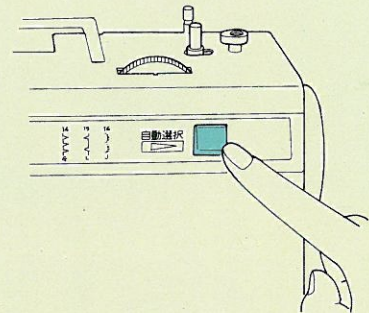
好みの速度を選んで押します。



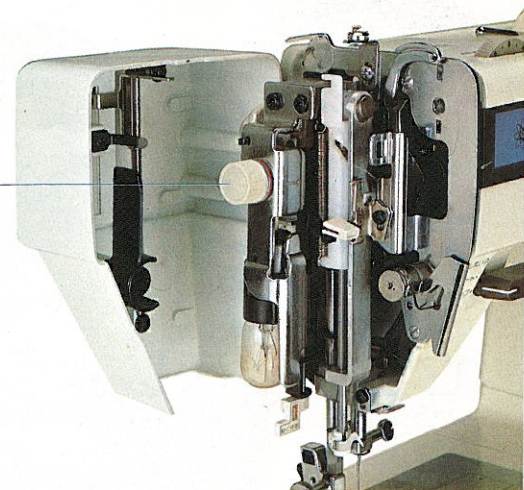
低速……ぬいにくいところ
中速……通常
高速

4 模様選択スイッチ

押すと、右送りに一つずつ模様を選びます。



※自動的にジグザグの振り幅、ぬい目の長さも選択されます。
※模様選択は、押えの付け替えの前に行ってください。



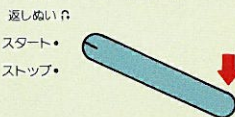
ランプスイッチ
回すと点滅します
※電源スイッチが
ONになってい
ないと点灯しま
せん。

5 コントロールレバー

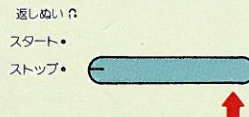
このレバーはスタート・ストップ・返しぬいの操作が兼用できます。
スタートさせるには



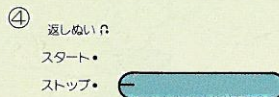
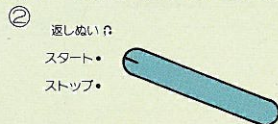
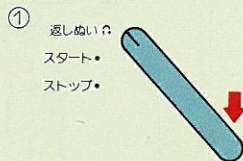
スタートします



ストップします



返しぬいをするには……レバーを押し下げている間だけ返しぬいができます。

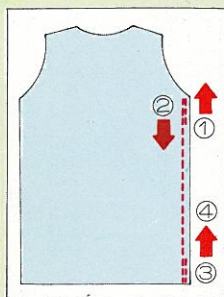


ぬい始め

- ① 必要な長さをぬうまで一杯に押します。
- ② 手をはなすとスタートの状態になります。

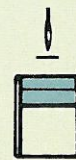
ぬい終わり

- ③ 必要な長さをぬうまで一杯に押します。
- ④ 手をはなすとストップの状態になります。



6 針停止位置切換レバー

針位置が上下に切り換わります。



ぬい終わりの針の位置がいつも上で止まります。



ぬい終わりの針の位置がいつも下で止まります。

※上下に切り換えると一針ぬい
ができます。

下糸の準備

下糸を
正しく
セットしましょう。

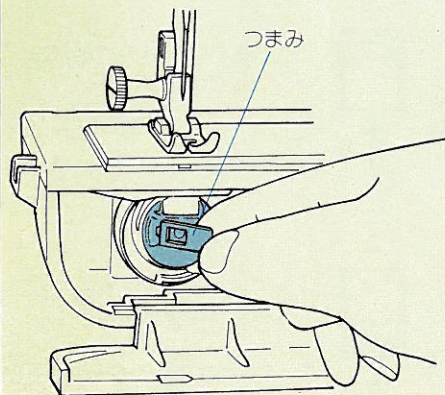


下図のようにして
かまふたを開きます。



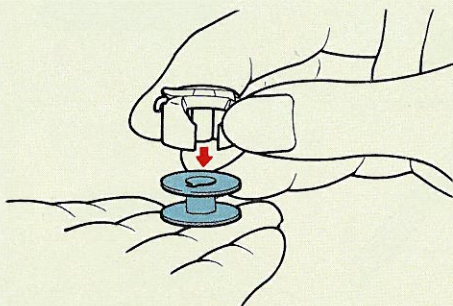
1 ボビンケースを取り出します

つまみを持ってボビンケースを取り出します。



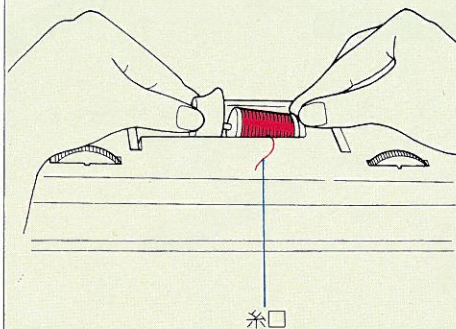
2 ボビンを取り出します

つまみをとってボビンを取り出します。



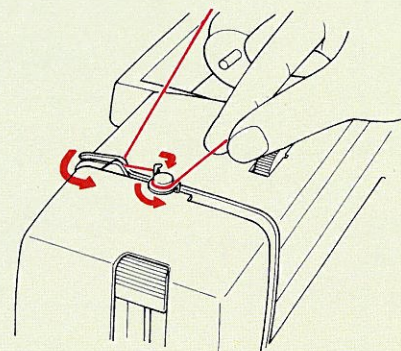
3 糸こまを差し込みます

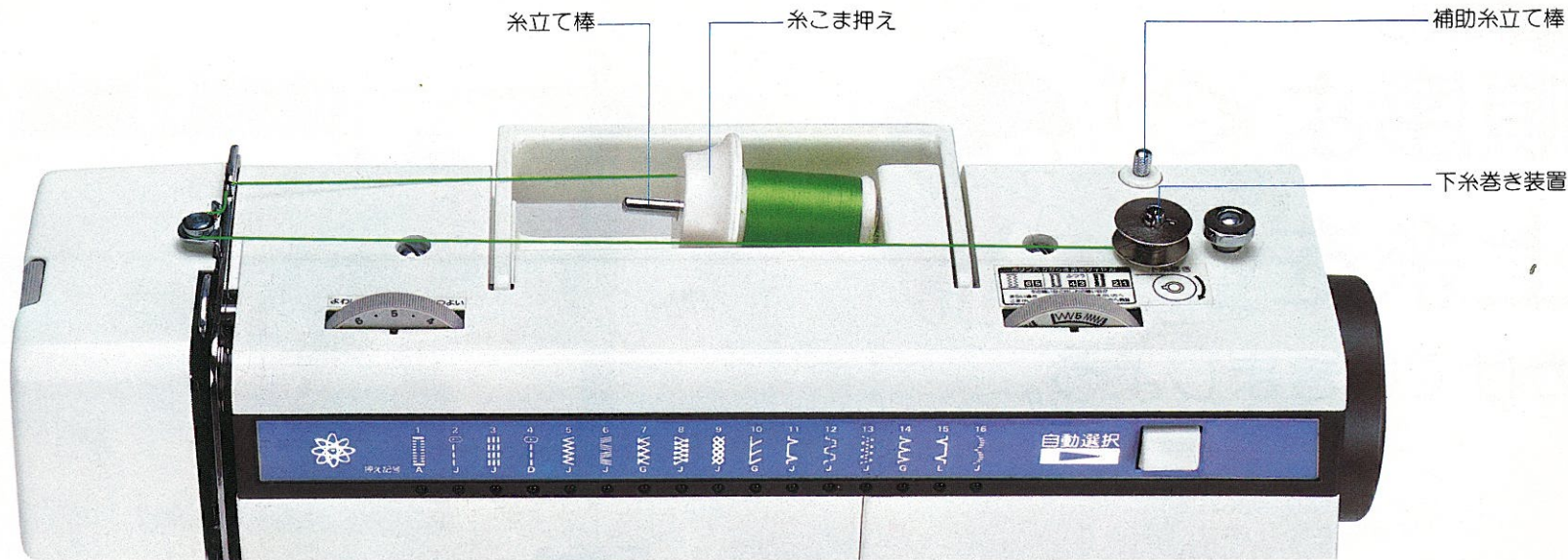
糸口を手前にして糸こま押えで押えます。



※糸こまが回らないようにしっかり差し込んでください。

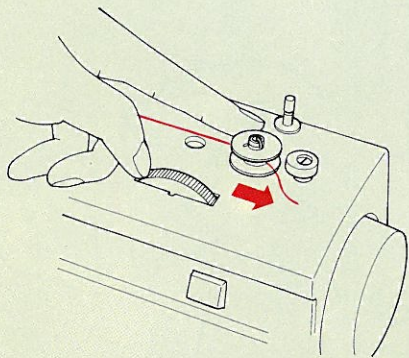
4 糸案内にかけます





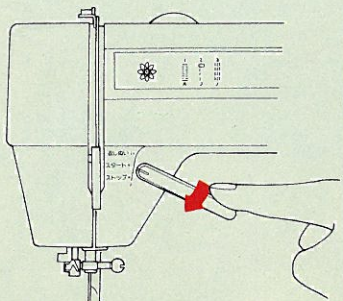
5 下糸を巻きます

- ① 5～6回糸を巻き付け
- ② 右へ押しします



6 スタートします

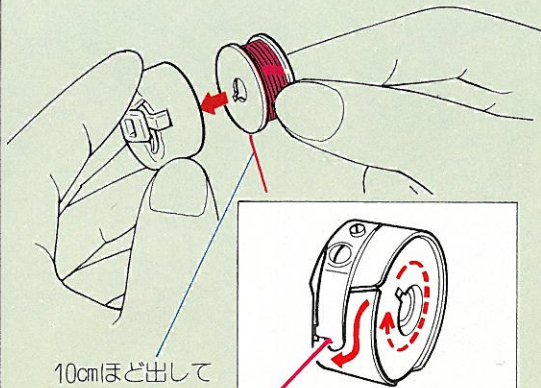
高速で運転して糸を巻きます。



※巻き終わったら運転をストップし、ポビンを左へ戻してははずし、糸を切ってください。

7 ポビンケースに入れます

- ① つまみを閉じて
- ② 切りみぞから調子ばねの下へすべり込ませます。

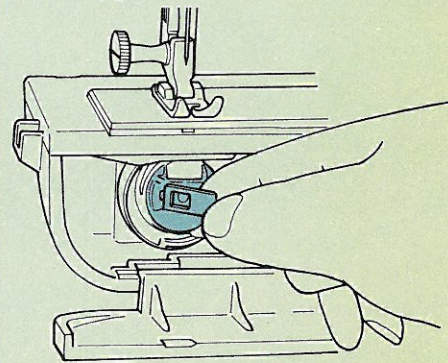


10cmほど出して

※糸は右巻きになるように。

8 ミシンへセットします

つまみを持ってポビンケースを取り付けます。



※しっかりセットされていないと、ミシンの始動とともにポビンケースが飛び出します。

上糸のかけ方

順序よく

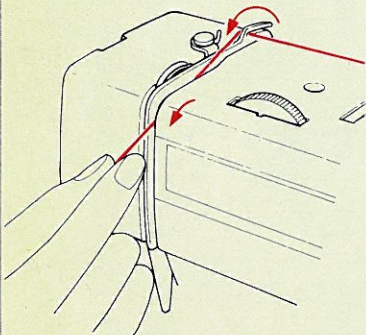
上糸を



かけていきましょう。

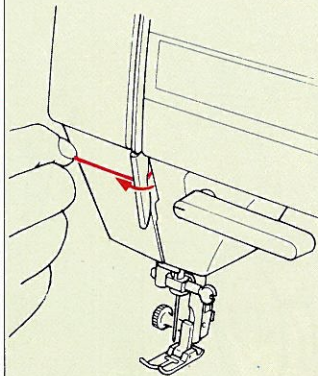


1

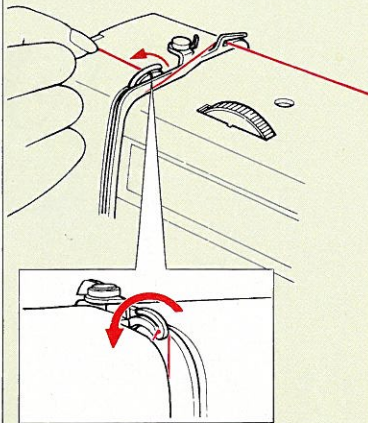


押えと針を上げてから糸かけをしてください。

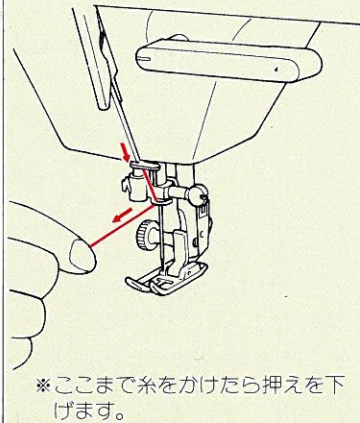
2



3



4

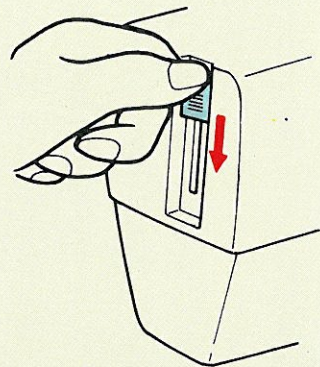


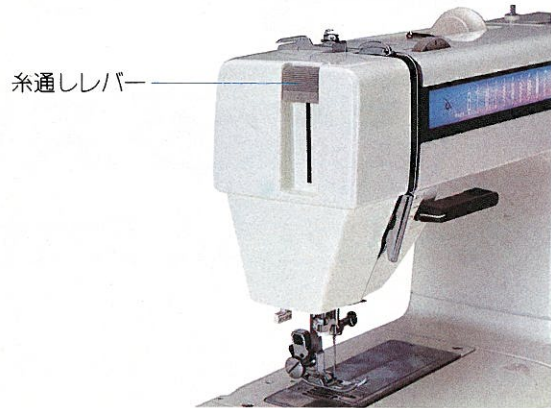
※ここまで糸をかけたなら押えを下げます。

5

糸通しレバーを下げます

①糸通しレバーを下げながら糸をガイドにかけます。





糸通しレバー

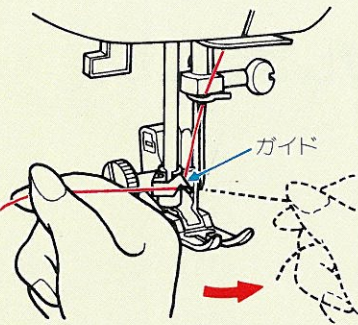
※糸通しのご注意

1. ミシンが動いているときに糸通しレバーを下げますと、糸通し装置がこわれて使用できなくなるだけでなく、針が折れ、けがのもとになりますのでご注意ください。
2. 糸通し装置をご使用になっているときは、プーリーを手で回さないでください。
3. 糸通し装置が使用できない針と糸の太さの組み合わせは下記のとおりです。

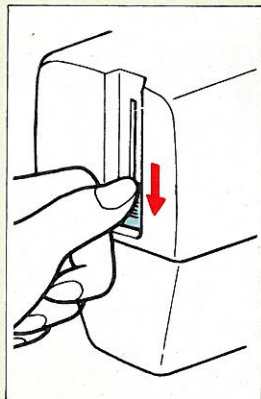
針	糸	
9番	30番	50番 60番
11番	30番	50番
14番	30番	

なお、ナイロン透明糸は上記に関係なく、ミシン針14～16番の範囲内でご使用ください。

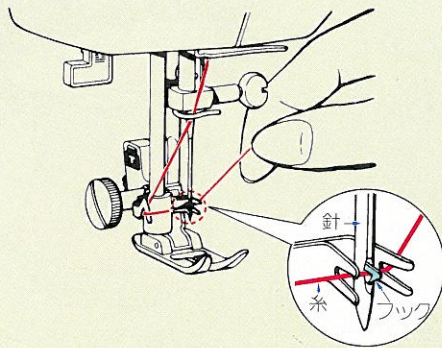
②ガイドにかかった糸を右へもっていきます。



⑥フックにかけます

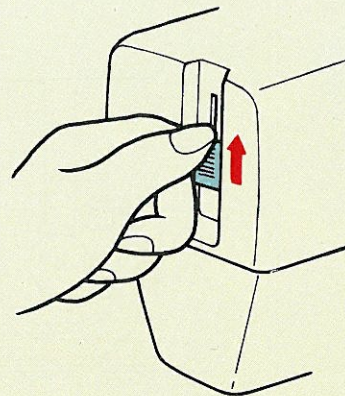


※糸を手前に軽く引き、糸がかかっているか確認してください。

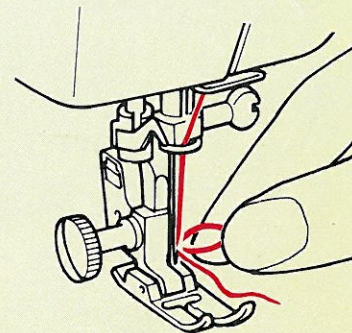


⑦糸通しレバーを上げます

糸をゆるめながら糸通しレバーを上げます。



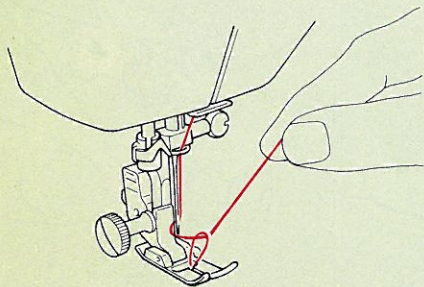
⑧上糸を引っ張り出します



下糸を 引き出して さあぬってみましょう。

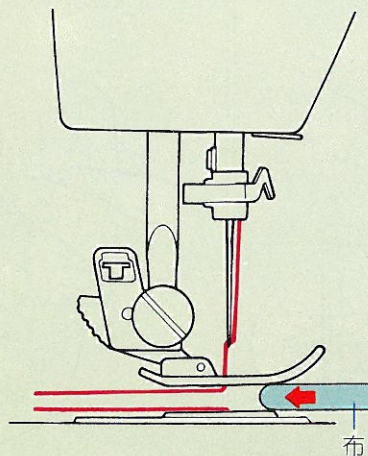
1 下糸を引き出します

- ①上糸をもって
- ②針停止位置切換レバーを上下させます。
- ③上糸を引いて下糸を引き出します。



2 布を入れて準備完了

糸を15cmほど出しておきます。



★コンパルの基本的な取り扱いはおわかりいただけましたか

ソーイングが楽しくなりそう

そんな予感がしませんか。



これからのソーイングに、あなたのアイデアをいかし、より豊かなものにしていただくために、次の知識もぜひ知っておいてください。

押えと針のつけ方

針と 押えを



つけかえるときは…。

ジグザグ押え

ボビン

ボタン穴かがり押え

直線押え

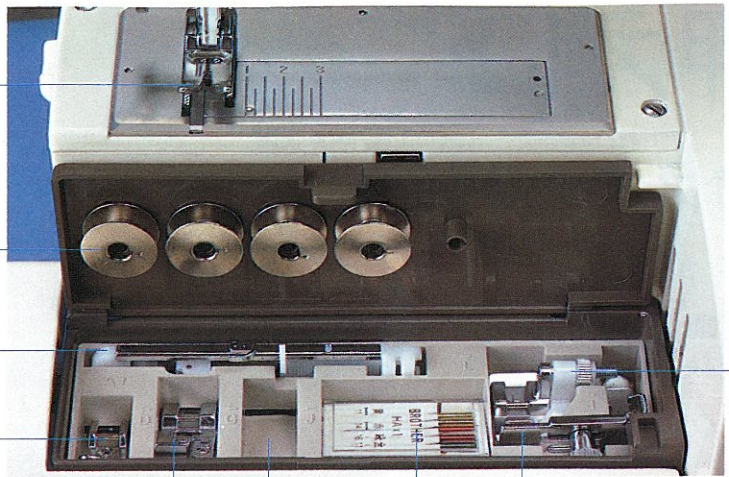
裁ち目かがり押え

ジグザグ押え用位置

ミシン針

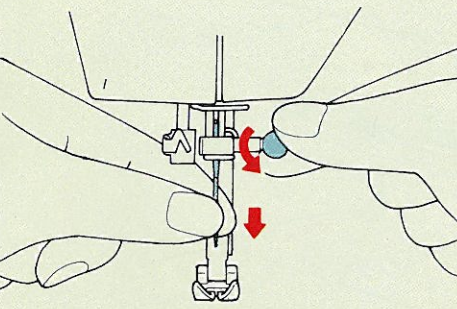
片押え

まつりぬい押え



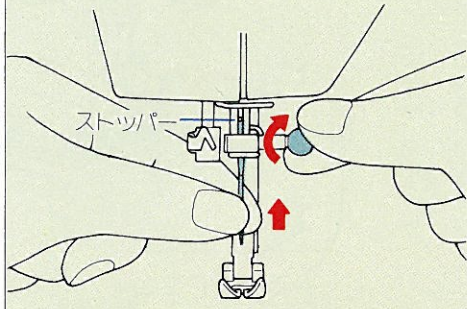
1 針を取りはずすには

- ① 押えを下げ
- ② ねじをゆるめ針をぬきます。



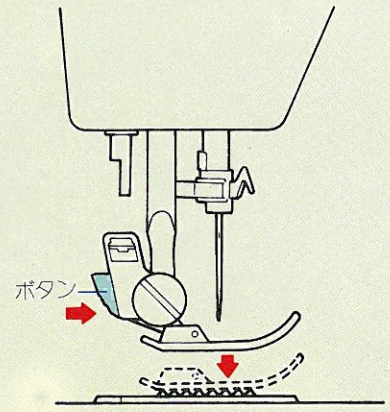
2 針を取り付けるには

- ① ストッパーに当たるまで差し込み
- ② ねじをしめます。



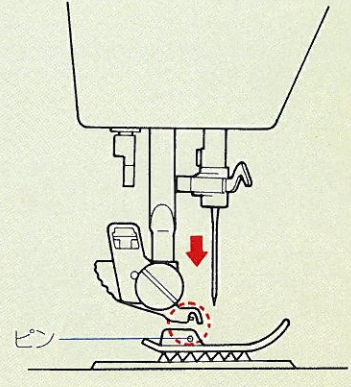
1 押えを取りはずすには

- ① 押えを上げ
- ② ボタンを押します。



2 押えを取り付けるには

- ① 押えホルダーの真下に押えのピンがくるように置き
- ② 押えあげてこを下げます。



片押えに

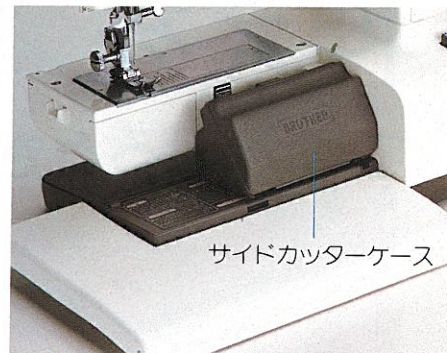
つけかえるときは



サイドカッターに

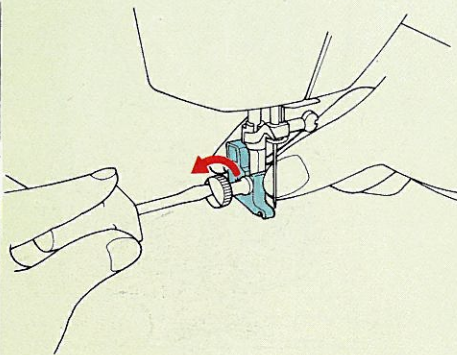
つけかえるときは

(注) サイドカッターはZZ3-B765型のように
付属されています。



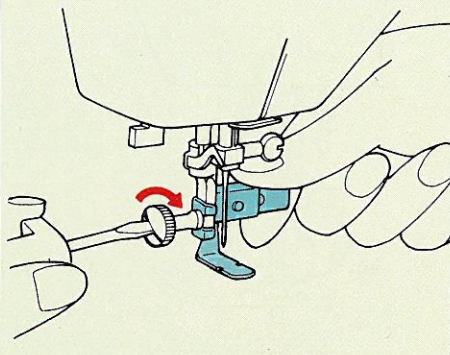
1 押えホルダーを取りはずすには

- ① 押えを上げ
- ② ねじをゆるめ、押えホルダーをはずします。



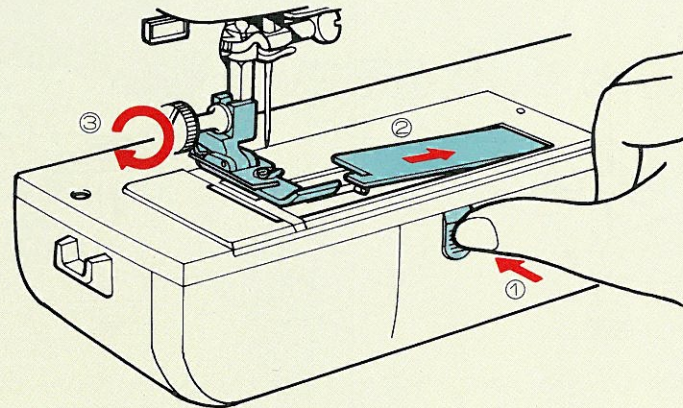
2 片押えを取り付けるには

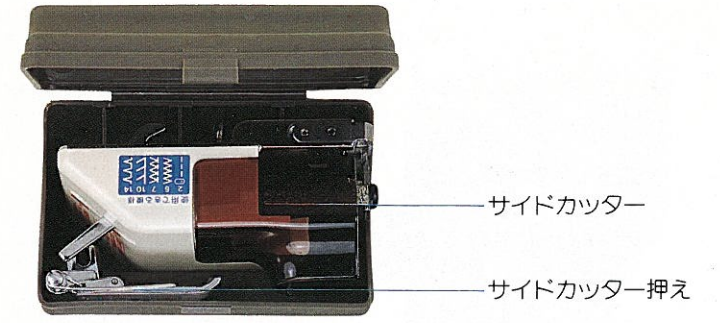
- ① 片押えをつけ
- ② ねじをしめます。



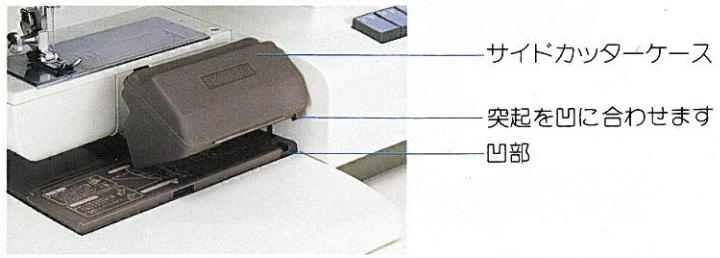
1 サイドカッターを取り付けるには

- ① ボタンを押し
- ② 針板をベッドの中に入れ
- ③ サイドカッター押えを取り付けます。

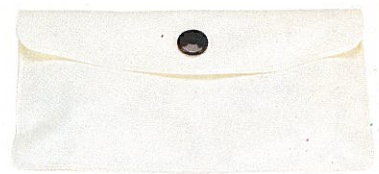




サイドカッター
サイドカッター押え



サイドカッターケース
突起を凹に合わせます
凹部



付属品パック
(ZZ3-B765仕様です。)



ねじまわし(中)



ねじまわし(小)



リッパー



油差し

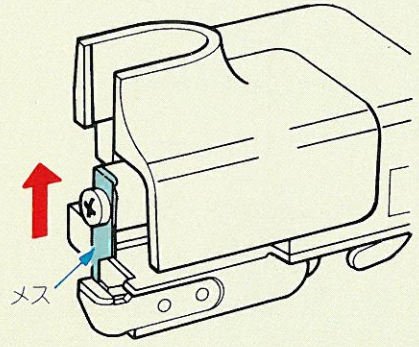


ミシンブラシ
(ZZ3-B765仕様です。)



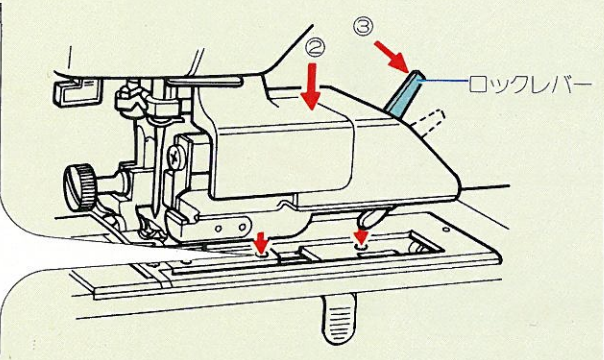
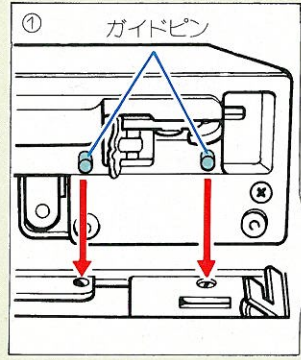
ピンセット
(ZZ3-B765型のみ
付属されています。)

2 メスを上位置にしておきます



3 サイドカッターをセットします

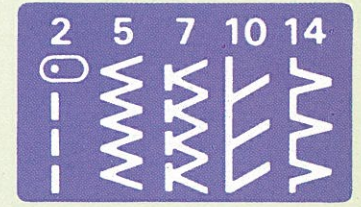
- ①ガイドピンを針板の穴にはめます。
- ②サイドカッターを軽く押えミシンにセットします。
- ③ロックレバーを「固定する」にしっかり固定します。



●ご注意

1. 下記の模様以外は、絶対に使用しないでください。(5のジグザグ模様は、振り幅3～5の範囲でご使用ください。)
2. サイドカッターは、デニム3枚程度までとし、それ以上の厚地は使用しないでください。
3. サイドカッターを取り付けた状態では糸通し装置は使用できません。糸通しはサイドカッターを取り付ける前に行ってください。

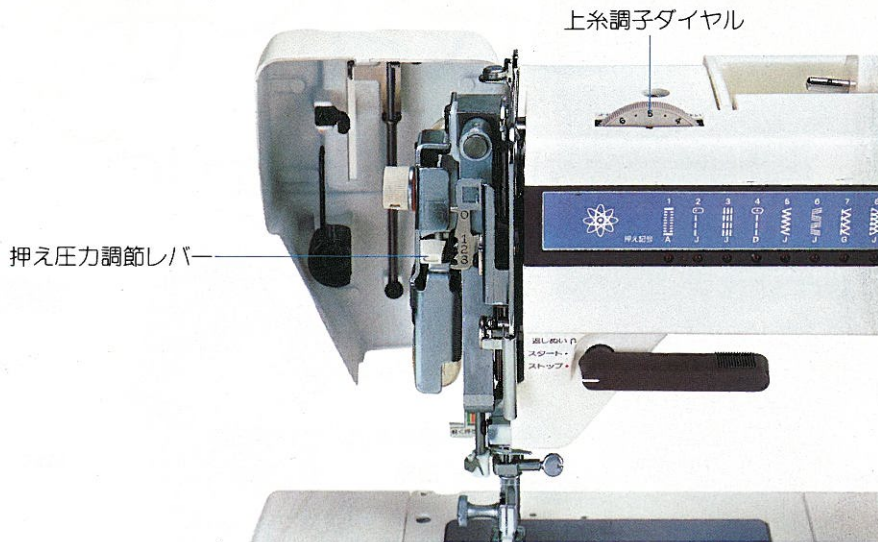
使用できる模様



調整ポイント

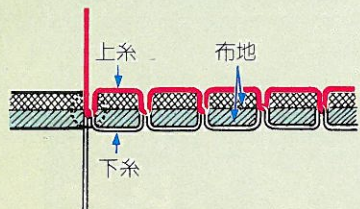
こんなことも

知って おきましょう。

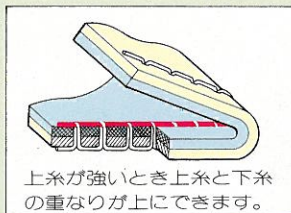


●正しい糸調子

糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなく、布にしわがよったり糸が切れたりします。



上糸と下糸の重なりが布と布の間にできます。

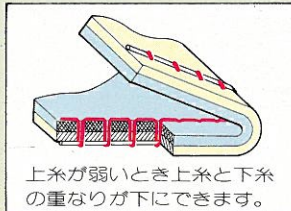


弱くしてください。

弱くする 強くする

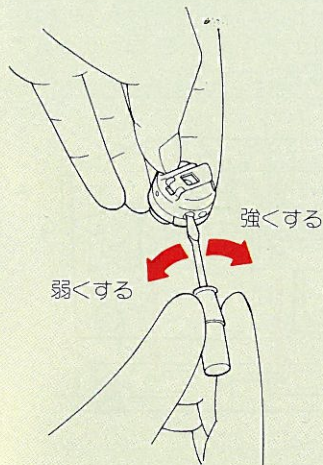


上糸調子ダイヤル

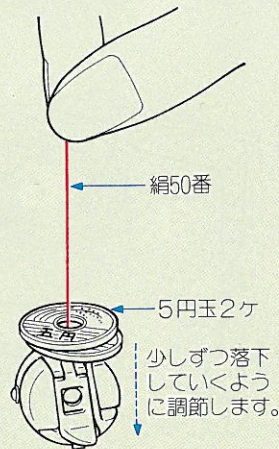


強くしてください。

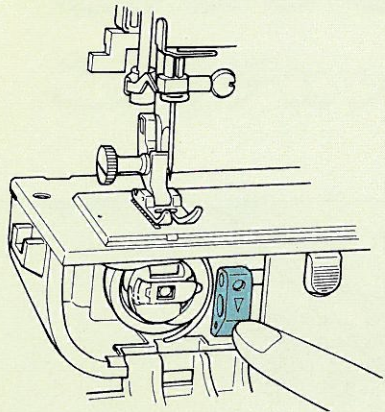
●下糸調子を調節する必要があるときは



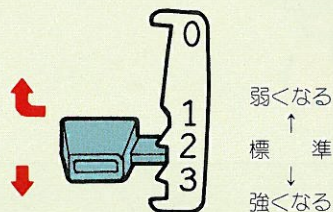
●下糸調子を普通の状態に戻すには



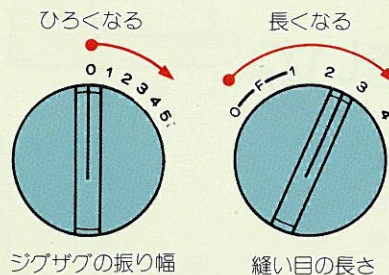
- 送り歯の上下スイッチ(ドロップフィードで)
 - ▼一押すと送り歯が下がり、布を送りません。
 - ▲一押すと送り歯が上がり、布を送ります。



- 押え圧力の調節
布の種類により調節ができます。

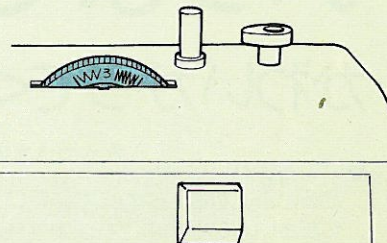


- ジグザグの振り幅調節ダイヤル
縫い目の長さ調節ダイヤル
自動選択のジグザグの振り幅またはぬい目の長さを変えたいときに使います。



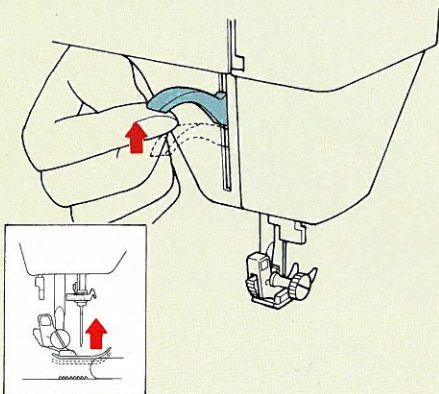
※模様に応じて調節範囲が限定されています。

- ボタン穴かがり微調節ダイヤル
布と糸に合わせて、ぬい目の調節ができます。



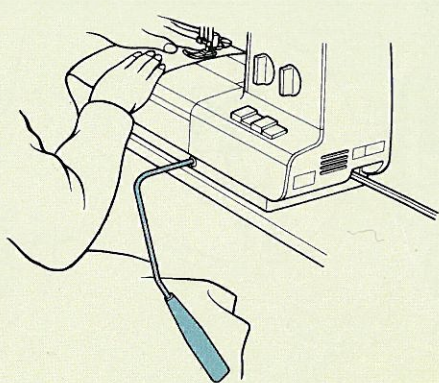
※「わくわくソーイング」のボタン穴かがり調整をみてください。

- 押えあげてこの二段式操作
さらにもう一段上がります。



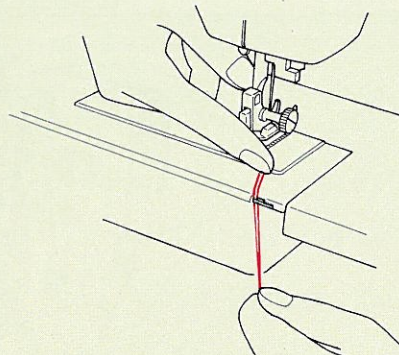
※厚地の重ねぬいなどに便利です。

- ひざ当てレバー
図のように差し込めば、ひざでスタート・ストップ操作ができます。

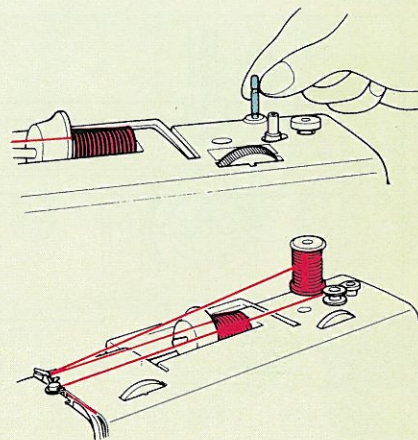


※返しぬいはしないでください。

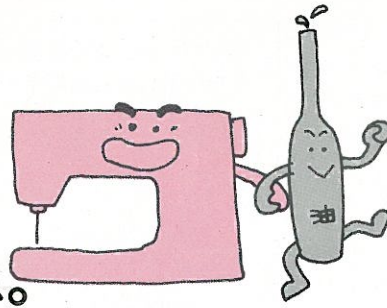
- 糸切り



- 補助糸立て棒
すでに上糸がかかっているときの、下糸巻きに利用できます。



いつまでも かわいがってくださいね。



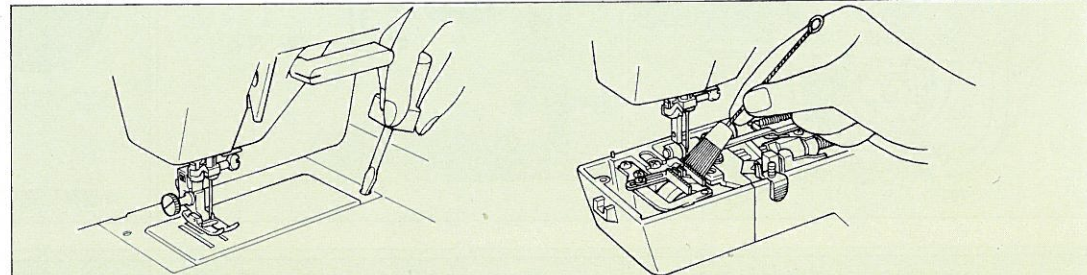
●いつもきれいに……。

かるいよごれは、やわらかい乾いた布でふいてください。ひどいよごれは中性洗剤を溶かした湯または水を浸した布でふき、次に湯または水に浸した布で洗剤をふきとってください。

●ミシンの大敵

- ストーブやアイロンは近づけないでください。
- ベンジン・ガソリン・シンナーなどは絶対に使わないでください。
- 保管するときは、直射日光をさけてください。

★送り歯の掃除

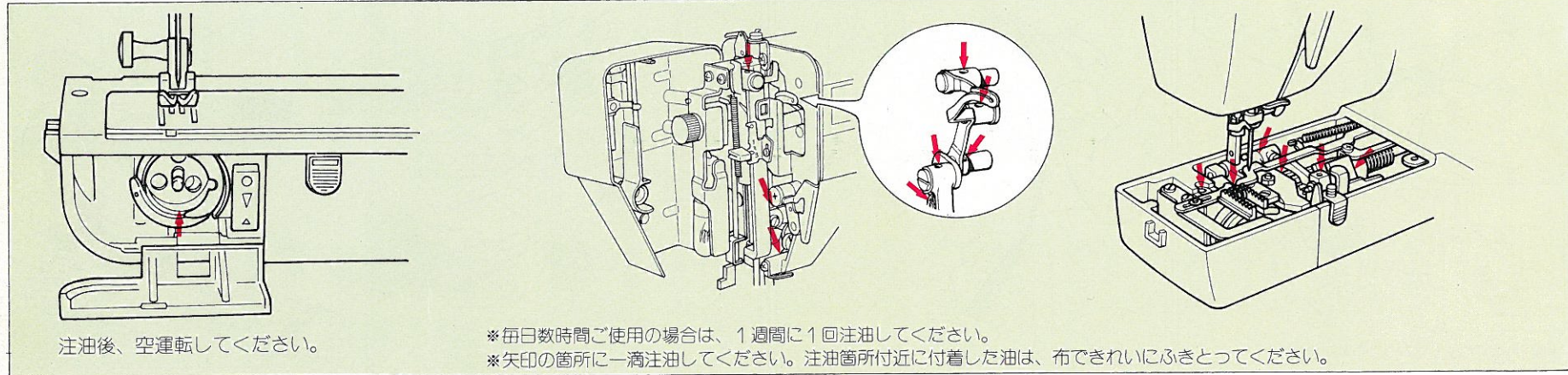


針板と送り歯の間は、糸くずやほこりがたまりやすく、故障の原因になる場合がありますので、いつも清潔にしておいてください。

※上記の箇所以外は分解しないでください。

※上記の取り付けは、必ず模様を4番の直線中央基線に合わせて行ってください。

★注油



注油後、空運転してください。

※毎日数時間ご使用の場合は、1週間に1回注油してください。

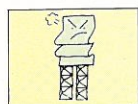
※矢印の箇所一滴注油してください。注油箇所付近に付着した油は、布できれいにふきとってください。

こんなときには ここをチェック。



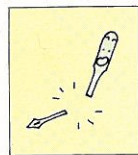
●簡単なミシンの調整

ミシンの調子が悪い場合は、まず次の原因を確かめましょう。
もし、それでも直らない場合は、最寄りのプラザ販売店にお申し付けください。



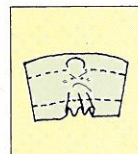
●布を送りにくい

- ①送り歯が下がっていませんか。
- ②ぬい目の長さ調節ダイヤルは正しくセットされていますか。



●針が折れる

- ①針は正しく付いていますか。
- ②布を不当に引っ張ってはいませんか。
- ③布・ミシン糸・ミシン針の組み合わせは正しいですか。
- ④針が曲がったり、針先がつぶれていませんか。



●ぬい目に輪ができる

- ①糸調子は正しいですか。
- ②ガマの油がきれいでいませんか。

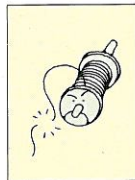
●ぬい物にしわがよる

- ①糸調子が強すぎませんか。
- ②糸のかけかたは正しいですか。



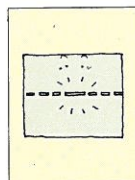
●回転がでない・音が高い

- ①送り歯にごみがたまっていませんか。
- ②油が切れていませんか。
- ③ミシン油を使用されましたか。



●上糸が切れる

- ①糸のかけかたは正しいですか。
- ②糸調子が強すぎませんか。
- ③針は正しく付いていますか。
- ④ミシン糸とミシン針の組み合わせは正しいですか。
- ⑤プーリーを逆回転してはいませんか。



●ぬい目がとぶ

- ①針は正しく付いていますか。
- ②針が曲がったり、針先がつぶれていませんか。
- ③布・ミシン糸・ミシン針の組み合わせは正しいですか。
- ④糸くずが針板の下部にたまっていませんか。
- ⑤糸のかけかたは正しいですか。



●下糸が切れる

- ①ボビンケースの調子パネを強くしめすぎていませんか。
- ②ボビンケースに糸が正しく通っていますか。

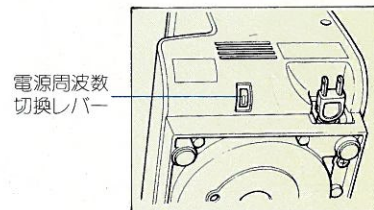
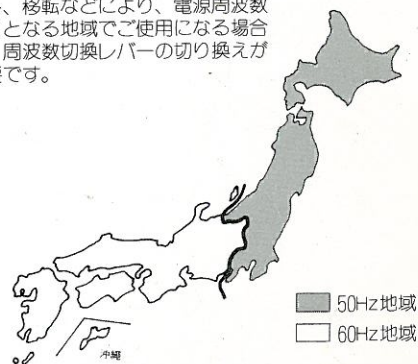


●ミシンが回らない

- ①スピードコントロールスイッチは押しではありませんか。
- ②電源スイッチを押してからコントロールレバーをスタートさせましたか。

★移転されたとき

電源周波数のことなる地域でご使用になる場合
家庭用交流電源の国内周波数分布は、
下図のようになっております。
もし、移転などにより、電源周波数の
ことなる地域でご使用になる場合
は、周波数切換レバーの切り換えが
必要です。



★運転中に停電したとき

- 電源プラグを抜いてください。
- 再運転される場合は、「運転の手順」に基づき正しく行ってください。



●アフターサービスについて

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。それ以後の修理については、お買い上げの販売店、又は最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用部品を、お買い上げ日から最低3年保有しています。
- その他のアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、又は下記の「お客様相談コーナー」へお問い合わせください。

お客様相談コーナー

札幌支店	〒060 札幌市中央区南三条西3-2-2	電話<011> 261-6631
仙台支店	〒980 仙台市一番町2-3-10	電話<0222> 27-8870
北関東支店	〒330 大宮市仲町1丁目124-2	電話<0486> 42-1271
東京支店	〒104 東京都中央区京橋3-3-8	電話<03> 272-0351
横浜支店	〒220 横浜市西区楠町9-6	電話<045> 312-8631
新潟支店	〒950 新潟市東大通1-1-1	電話<0252> 47-7101
静岡支店	〒420 静岡市御幸町9-1	電話<0542> 54-2601
名古屋支店	〒460 名古屋市中区栄3-27-18	電話<052> 261-3271
京都支店	〒600 京都市下京区四条通り御幸町角	電話<075> 255-2481
大阪支店	〒542 大阪市南区心斎橋筋1-1	電話<06> 252-5321
広島支店	〒730 広島市中区胡町4-27	電話<0822> 41-9236
高松支店	〒760 高松市寿町1-1-5	電話<0878> 51-7341
福岡支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-20-1	電話<092> 431-6561
熊本支店	〒860 熊本市城東町2-20	電話<0963> 55-7151
沖縄出張所	〒900 那覇市泊3-1-2	電話<0988> 68-4511

◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の「お客様相談コーナー」へご連絡ください。

※上記の電話番号及び住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。



ブラザー工業株式会社
ブラザーマシン販売株式会社
〒467 名古屋市瑞穂区堀田通9-35
TEL 代表 <052> 824-2511